

第 11 次大府市交通安全計画（案）に対する意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>高齢者の事故割合が多いことに対し、高齢運転者による事故が多いのか、高齢歩行者（自転車）の事故が多いのかによって対策が変わると思われる。高齢歩行者事故対策として、一般運転者への啓発や、事故多発箇所の注意喚起や速度制限が必要になるのではないか。</p>	<p>高齢者への交通安全対策として、ハード面では、交通事故の多発している道路や、交通事故が予測される道路において、交通安全施設等の整備を推進することにより、安全かつ快適な交通環境の確立を図るとともに、ソフト面では、運転者だけではなく市民一人ひとりに交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの習慣付けを推進します。</p>
2	<p>高齢運転者の事故対策だけでなく、交通事故による死亡者数を減らすための効果的な施策のため、分析をもう一步踏み込むべきだと思う。</p>	<p>事故現場等を中心に、愛知県、東海警察署からの情報をもとに、市関連部署や関係機関が連携し現地調査を行い、交通安全施策について、多角的、専門的な分析、検討を行っています。</p>
3	<p>大府市内の古くからのある生活道路は道幅が狭く、通勤時間帯には多くの車が通り、歩行、自転車通学は危険である。道路はゾーン規制だけでなく、道路拡幅を進めて欲しい。</p>	<p>事故危険箇所等の対策として、既存道路の拡幅や交差点の改良、見通しの改良等を推進しています。</p>

4	<p>普段から渋滞することの多い幹線道路近くの横根平子地区開発が終了すると、更なる渋滞が予想されるが、その対策を明記してほしい。</p>	<p>本計画は、今後の方向性を示し必要となる道路交通環境の整備及び交通安全思想の普及徹底への策を示すもので、特定地区における個別事案については、関係機関との協議により進めています。</p>
5	<p>大府市は公共交通機関網がなく、自動車がなければスムーズな生活を営むことができない地域が多いため、ふれあいバスの充実を心から願っている。</p> <p>「ふれあいパス70」を70歳以上の方全員に配布し、ふれあいバス利用の促進を図ってほしい。</p>	<p>ふれあいバスの運行が充実するよう、必要に応じてルートやダイヤの見直し等を行い、サービスの改善・充実に努めています。また、「ふれあいパス70」は、運転免許証の自主返納時等の様々な機会を通してご案内しております。</p>